

大阪・関西万博「Co-Design Challenge」における
ブランディング・プロモーション計画実施業務（2025年度）
事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 選定手法

事業者（2者）から提案のあった内容について、4名の選定委員による審査を行い、最優秀提案事業者を選定いたしました。なお、審査にあたっては、令和7年3月24日から3月28日に事業予定者選定委員会の書面審査を実施し、選定委員による採点（100点満点）を行いました。

2. 選定結果

最優秀提案事業者（契約候補者）

大阪・関西万博「Co-Design Challenge」共同企業体（代表構成員：株式会社読売新聞大阪本社）

評価点 80.40点（提案金額 税込 6,279,900円）

3. 提案事業者（五十音順）

○大阪・関西万博「Co-Design Challenge」共同企業体（代表構成員：株式会社読売新聞大阪本社）※再掲

○株式会社トライアウト

4. 最優秀提案事業者の選定理由（講評、抜粋）

- ・ 企画全体として、具体性、実現性も高く一定の安心感が感じられた。
- ・ 企画趣旨の把握がしっかりしている。その上で会場内を回遊させるための「起点」となるデザインを持ち込むなどの工夫も良い。
- ・ 共同事業体の構成員として、PR会社に加え、新聞社、テレビ局が含まれており、新聞、テレビ、WEB、屋外ビジョン等における露出が確約されている。掲載メディア100件のKPIについても実現可能性が高いと想定される。

5. 選定委員会委員（50音順、敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
楠本 淳	2025年日本国際博覧会 広報・プロモーションディレクター	CDCの広報について、提案内容がCDC物品や体験企画、開発過程のPRにつな

		がる効果的なものになっているのか等、広報・ブランディング担当ディレクターの視点から審査を行っていただくため。
小西 利行	POOL Inc. Creative Director	CDC の広報について、過去に多数の広告、ブランディング事業を手掛けられた豊富なご知見からのご意見をいただくとともに、博覧会協会の Expo Outcome Design Committee メンバー及び Co-Design Challenge アドバイザーとしての視点を踏まえて審査を行っていただくため。
齋藤 精一	大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター	CDC の広報について、提案内容が CDC 物品や体験企画、開発過程の PR につながる効果的なものになっているのか等、大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクターとしての視点から審査を行っていただくため。
矢島 進二	公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事	CDC に“デザイン”の観点・視点を取り入れるべく、デザインに関する幅広い知見をお持ちであり、長年デザインプロモーション事業に携わっておられる経験から審査を行っていただくため。

以上